

なんしよっと 博多支部 2019

J R九州労組中央本部博多支部

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町 13 番 28 号

TEL: 092-633-6539 (NTT) 092-5866 (JR)

FAX: 092-643-5050 (NTT) 092-3623 (JR)

E-mail : hakata@jr-krwu.org

○発行責任者：石田 昌幸

○編集責任者：山下 浩太郎

連合「2019 平和行動in長崎」

～核兵器の廃絶と恒久平和の実現、被爆者援護施策の充実～



「2019 平和行動 in 長崎」

8月8日(木)連合が主催する、「2019 平和行動 in 長崎」が執り行われ、核兵器の廃絶と恒久平和の実現、そして被爆者援護施策の充実を図るための運動として、連合福岡の仲間と共に支部執行委員3名が2日間の行動に参加しました。

初日は「連合2019 平和ナガサキ集会」、「2020年核兵器不拡散条約(NPT)再検討会議に向けたシンポジウム」に参加し、連合の有志による核兵器廃絶に向けた熱き思いや語り部による被爆者の訴えなど、核兵器がもたらす惨禍を深く脳裏に刻み込みました。

2日目は「原爆資料館」等、平和公園周辺にて平和学習をしたのち、「長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」に参加して犠牲者の冥福と世界平和を祈念しました。

核兵器の廃絶と 被爆者援護施策の充実

1945年8月9日、午前11時2分、長崎の地に一発の原子爆弾が投下され、一瞬にして7万人を超える人が亡くなり、多くの苦しみ、悲しみをもたらしました。今年で被爆から74年が経過しましたが、核兵器の恐怖、後遺症は残された被爆者やご遺族に癒えることのない傷を負わせました。

このような悲劇があったにも関わらず世界にはいまだ1万3880発もの核弾頭が存在し、私たち人類を脅威にさらしています。そのなかで日本は唯一の被爆国でありながら国際条約である核兵器禁止条約に署名・批准をしていません。核兵器の廃絶と恒久平和の実現に向けて日本による批准は必要不可欠です。

また被爆による放射線の影響によって健康被害を受け、今なお苦しんでいる被爆者、被爆二世(被爆者のこども)の援護施策についても充実・拡大を求めていかなければなりません。核兵器廃絶に向けてどう世界に訴え続けてくのか、被爆者なき時代に被爆体験・被爆者の思いをどう継承するのか。これは被爆した長崎・広島だけでなく私たち一人ひとりが当事者意識を持って考えていかなければならない課題です。